箙多様体とカッツ・ムーディ・リー環

中島 啓 (東北大学理学部)

平成 6 年 7 月 5 日

1 序

quiver とは、数学では、グラフの各辺に向きを入れたもののことです。本来は、矢を入れるもので図 1のようなものです。グラフの辺に向きを入れると、矢印がいっぱい現われることからこのような名前を付けたのであろうと想像されます。

"quiver の表現" と呼ばれるようなものを幾何学的に扱うために、quiver variety というものを導入したのですが、 業績報告書は、なるべく日本語で書きなさい。」という仰せがありまして、quiver の日本語訳を与えなければいけないことになりました。そこで、研究社新英和大辞典で調べたところ 「えびら」と書いてありました。

日本のえびらは、図 2のようなもので、quiver と用途は同じですが、形状はやや異なっています。

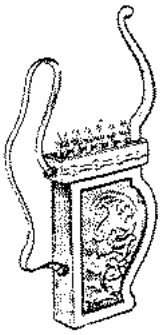

図 1: quiver (研究社新英和大辞典より)

図 2: 箙 (えびら飴の包装紙より)